

2015(平成27)年度 法学既修者入学試験問題(8月試験)

刑 法

(90分, 総点100点)

試験開始の指示があるまで開かないこと

注意

1. 問題冊子は, 表紙及び余白を含めて4ページで, 問題は1問ある。
2. 解答用紙は1枚配布する。解答は解答用紙に記入し, 解答の末尾には, 「以上」と明記すること。また, 用紙が不足した場合には, 追加の用紙を配布するので, 挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として, 白紙を1枚配布する。ただし, 下書き用紙の提出は認めないので, 必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号, 氏名記入は, 監督者の指示によること。また, 「管理番号」欄は, 大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には, 応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお, 試験中の発病等やむを得ない場合には, 挙手により監督者に知らせ, その指示に従うこと。
7. 試験終了後は, 監督者の指示があるまで, 各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は, 各自で持ち帰ること。

〔設問〕

Xは、遊興費に充てるため高金利の町金融から借金を重ね、厳しい取り立てを受けていたことから、住居地から逃亡して姿をくらまそうと決意するに至った。しかし、その逃亡資金さえなかったことから、返済する意思がなく、また返済できるあてがなかったにもかかわらず、知人のYに対し、「仕事の都合で金がある。5万円でいいから金を貸してくれ。後日必ず返す。」と嘘を言って現金を騙し取ろうとした。そうしたところ、Yから、「今、手元に金はないが、銀行の口座に7万円か8万円くらいある。キャッシュカードを貸すから、このカードで現金を引き出して使ったらどうか。」と言われた。そこで、Xは、「それでもいいのでお願いします。」と答え、Yから同人名義の銀行口座のキャッシュカードを渡されるとともに、同カードの暗証番号を教えられた。Xは、同カードを使って銀行の現金自動支払機から現金5万円を引き出し、その後、同カードをYに返還した。その直後、Xは、引き出した現金5万円の一部を使って高速バスに乗り、遠方に逃亡した。

このような場合におけるXの罪責について述べなさい。

余白

余白